

寄稿

Office K's 楠本杉子

障がい福祉分野の仕事に携わり20年以上。一旦、組織人を卒業し細くとも福祉業界に携わって現在に至ります。これまで培ってきた経験と技術を私らしく活かせる福祉事業を展開できないかと考え、先日、株式会社Office K'sを設立いたしました。

障がい福祉にはそれは深い歴史があります。差別や偏見、教育問題は今も引き継いでいると言えます。過去を紐といていくと、その時代で社会の障壁と闘い運動してきた人たちの努力があるからこそ、現在の福祉サービスが存在しているのです。そういった時の流れを決して忘れることなく、現代の社会の生活スタイルに合わせた福祉事業の展開を模索しています。

個人的に福祉業界はアナログ的な色が濃く感じています。時代の流れに追いついていないようにも思います。

「これからの福祉にイノベーションを」

契約書1つを例にとっても世間はデジタル化されている物が殆どですが、業界的には紙ベースの部分が多く残っています。資源問題が問われている中、デジタル化を導入できる部分に利用する、時間を有効に使うという意味でもオンラインシステム等を活用するなど、忙しい現代の家族事情に合わせたシステム化の部分には着目しておきたいです。

支援の中では、巻頭で取り上げられている映画「あまのがわ」に登場する分身ロボット「OriHime」のような存在もこれから必要だと感じます。病気が障がいから出たとしても出られない人たちの孤立させず、またどこにいても心を自由に解放する可能性を秘めているツールです。そういったアイテムを柔軟的に導入できる事業展開を考えていきます。

「システム化」と聞くとか何か冷たい印象かもしれませんが、現在の私たちの生活の殆どはデジタル、システム化が進んでいます。(ここで

はデメリットは述べませんが) SNSが発達したことにより、誰とでも連絡が取りやすくなり、欲しい情報も得られるようになりました。これまでだと知り合うきっかけのなかった人とも、共通な分野を通して親しくなれることも少なくありません。

「孤立」というキーワードは否めませんが「個が繋がりがやすくなった」とも言えます。より人と人が近づくことができるようになった側面があることは皆さんも感じられているのではないのでしょうか。そして古新監督の言葉にも「多様性」とありましたが、まさしく福祉業界は多様性を大切にしながら変化していく業界です。

多様性のある人たちがその人らしく過ごせる場所。また多様性のある人たちが働く場所として充実した毎日をおくれる事業所を作ることを進めていきます。

株式会社Office K's

代表取締役 楠本 杉子

〒639-3125 奈良県吉野郡大淀町北野80-6
E-mail office.ks.nara2018@gmail.com

松尾 清隆さん

障害福祉
職員の声

1本の電話から子どもらとの繋がりが広がる

私が、障害福祉の仕事と出会ったのは、川本社長からの突然の電話が始まりでした。その当時、私は歯科技工士として開業し、働いておりました。

一度目の川本社長からの電話より、約半年間の月日が流れ、改めて連絡を頂き、川本社長から、子どもたちに対する熱い思いをお聞きし、一度見学に行かせて頂くお約束をさせて頂きました。

そんな予期しない川本社長との繋がりが、子どもたちとの繋がりの輪が広がりました。

緊張しながら、初めて出会う子どもたちの様子を窺った

障害福祉の道へ

り、名前を聞いてみたり、スタッフの動きも観察しながら、放課後等デイサービスげんきでの日々が始まりました。当初は、手探り状態の毎日でした。

しかし、その中で子どもたちから教えてもらう事、元気をもらう事、そんな日々の積み重ねが、意識していないうちに自分自身と子どもたちスタッフそして、げんき全体の輪になり全ての人が、全ての繋がりの大切さを感じる事が出来ています。

子どもたちとの出会いを大切に、たくさんの笑顔を見れる様に、今後も寄り添っていきたくと思っています。



今後もうすぐ宜しくお願い申し上げます。

銅賞 「鯉のぼり」
羽流さん



銀賞 「キミの線路はどこ向く」
KOSHI-JUNKOさん



金賞 「春み一つけた！」
甲斐己与美さん



金賞は甲斐己与美さん

第1回カワモトプレジャーグループ写真コンテスト

妹？線路ギリギリから広

続いて銀賞はKOSHI-JUNKOさんの「キミの線路はどこ向く」です。被写体の二人は兄妹？線路ギリギリから広

第1回カワモトプレジャーグループ写真コンテストへご応募をいただき、ありがとうございます。た

角で捉えたアングル、先を行く妹を見つめる兄の姿がまるでドラマのワン

以上、今回の受賞作品の3点に共通するのは「1枚の写真に多くの物語がある」ことです。来月号も皆さまからのたくさんのご応募をお待ちしています。

銅賞は羽流さんの「鯉のぼり」です。意図的に地平線を傾けた構図でダイナミックで力強さを感じます。画面右に向けて伸びるこいのぼりの竿が子どもの成長と重なり、幸せを願う親の気持ちに伝わってきます。改善する点を挙げれば、もう少し引いて(広角)撮影すると竿が切れなかったと思います。

銅賞は羽流さんの「鯉のぼり」です。意図的に地平線を傾けた構図でダイナミックで力強さを感じます。画面右に向けて伸びるこいのぼりの竿が子どもの成長と重なり、幸せを願う親の気持ちに伝わってきます。改善する点を挙げれば、もう少し引いて(広角)撮影すると竿が切れなかったと思います。

カワモトプレジャーグループでは、利用者とその保護者、スタッフから広く「自慢の一枚」の写真を募る写真コンテストを行っています。応募は、コンテストのために使用するLINEの専用アカウントに簡潔な題名をつけて投稿。応募点数は一人5点まで、応募期間は次回の広報紙発行まで。上位入賞者は次回の広報紙に掲載して表彰させていただきます。金賞はクオカード2000円分、銀賞は同1000円分、銅賞は同500円分を副賞として進呈させていただきます。



スマホで撮る

料理撮影のポイントは逆光と構図

今回は料理の写真について考えてみたいと思います。さまざまなお店のメニューを見ると「美味しそう」と思うものや「ん？」と首をかしげるものがあります。美味しそうに見える料理の写真のポイント2点を押さえておきます。

一般的に逆光で写真を撮るのはNGとされていますが、料理に限っては逆光の方が好ましいケースがほとんどです。後ろから光が当たることによって皿の上の主人公が浮かび上がります=写真①参照。お店の窓から入る光を使って撮影しましょう。

逆光で撮るため、順光でも光を当ててやる必要がありますが、スマホのストロボを使用すると、不自然になります。天井の光を使うか、白いナプキンを手前に置き、レフ板のように使用することで前と後ろの両方から自然な光を当てることができます。

次のポイントは構図です。定食やセットなど、複数の小鉢や皿がある場合、メインとなるものを画面の60%から70

%を占めるように構えてください。ご飯やみそ汁などは、少しだけ写ればOKです=写真②参照。全体を写そうとすると、面白くない写真になります。

また主役をできるだけアップにすることで料理のディテールを伝えることができます。積極的にアップの写真を撮るように心がけましょう。



主役となる料理を大きく「ご飯などは少しだけでOK」

中華 龍園

営業時間 午後6時～午前2時

奈良県橿原市忌部町 51-1 吉田プラザ内

Tel.0744-24-1712

居酒屋 又兵衛

梅本勝行

橿原市見瀬町607-1

0744(28)3963

090(1676)1910

SINCE 1969

お酒と手料理 洋風居酒屋

New Lucy

OPEN 17:00～

CLOSE 23:00 (L.O. 22:30)

日・祝日 22:30 (L.O. 22:00)

奈良県橿原市内膳町5-1-26 八木駅前商店街

八木駅から徒歩1分

HITEEJI

ガス工事・衛生工事・電気工事

各市町村上下水道指定工事店

トータルリフォーム・LPガス・燃料一式

株式会社 人知燃料住専店

一般建設業 奈良県知事許可(般-13)第3355号

奈良県高市郡高取町清水谷 147-1

Tel.0744-52-2114

Fax.0744-52-3971